

きれいな川に戻りたい…

源

流を三箇山(筑前町)に持つ穂波川は、清流と呼べるほど、きれいな水質ではありません。現に、鮭の稚魚を放流する子どもたちの横には、捨てられたガスボンベや空き缶がありました。

今回の放流が21回目となる「豆田の川に鮭を呼び戻そう会」の目的は、『鮭が戻ってくる』ということだけでなく、『鮭が戻ってこれるようなきれいな川にしよう』という、願いが込められています。元気に巣立った鮭の稚魚が戻ってくるかどうか、それは私たちの小さな気配りによるものが大きいのです。



▲昨年の12月に、新潟県から送られてきた鮭の卵。その卵を孵化から放流まで行う、伏貫喜久男さんとお孫さんの慎弥さん。「何事も前準備が大変ですが、子どもたちの喜ぶ顔で疲れもとれます」と、喜久男さん。



◀鮭の放流の前に、鮭についての勉強会もあります。児童からは、たくさんの質問が出ていました。



▶また、戻ってきてね!